

## I 基本的な考え方

### 1 計画策定の趣旨

日本が本格的な人口減少の時代を迎え、江別市においても平成 17（2005）年をピークに人口が減少し、少子高齢化も確実に進行しています。

また、経済のグローバル化<sup>\*1</sup>や、経済・雇用環境の悪化、東日本大震災を契機とした安全・安心や地球温暖化<sup>\*2</sup>による環境問題への関心が高まる一方で、地方分権による権限移譲の進展、厳しさを増す財政運営など、江別市を取り巻く社会情勢は大きく変化してきています。

第5次江別市総合計画<sup>\*3</sup>までは、計画の期間内で実施すべき事業を明確にして取り組んできましたが、こうした社会情勢の変化に対応していくためには、総合計画で具体的な施策や事業を網羅することを見直すべき時期にきています。

このため、「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」では、江別市がめざすまちの姿とそのまちの姿を実現するための基本方向を示します。

そして、具体的な施策や事業などは、様々な分野で定める個別計画などに位置付けて、総合計画との整合を図りながら取り組んでいくことで、常に社会情勢の変化を踏まえて柔軟に対応できるようにします。

また、本計画は、平成 21（2009）年に「江別市自治基本条例<sup>\*4</sup>」を制定してから初めて策定する総合計画となることから、その推進に当たっては、条例の理念に基づき、市民参加によって市民と行政が認識を一つにして協働<sup>\*5</sup>で取り組んでいきます。

---

#### 【用語解説】

※ 1 グローバル化：政治・経済・文化などが国境を越えて世界規模で行われるようになること。国際化。

※ 2 地球温暖化：二酸化炭素等の温室効果ガスの増加により気温が上昇する現象。地球温暖化が進むと生活環境や生物環境へ広く影響を及ぼすものと懸念されています。

※ 3 第5次江別市総合計画：平成 16（2004）年度から 25（2013）年度までの 10 か年を展望して策定された江別市のまちづくりの基本方向を示した計画。

※ 4 江別市自治基本条例：市民自治によるまちづくりを進めるための目標や基本的なルールなどを定めた条例で、平成 21（2009）年 7 月に江別市の最高規範として制定しました。市民の信託に基づく議会及び市長等の役割及び責務を明らかにするとともに、市民自らが考え、行動する、市民自治を実現することを目的としています。

※ 5 協働：「江別市自治基本条例」では、「協働」について、それぞれの役割や責任を理解し、互いに尊重しながら、地域社会の課題などを解決するために協力して取り組むことと定めています。このことから、本計画では、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や様々な世代が、それぞれの得意分野や経験・知識等を活かしながら、まちづくりにおいて事業の企画段階から関わり、様々な取組を実践することにより、より大きな効果が期待できるものと考えています。

## 2 計画の構成

本計画は、「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」で構成します。

「えべつまちづくり未来構想」では、江別市のまちづくりの基本理念や、めざす10年後の将来都市像、そしてそれを実現していくために必要な手立てである「まちづくり政策」を示します。

「えべつ未来戦略」では、江別市の持つ特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことにつながるテーマを設定し、そのテーマを実現するために必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいくことを具体的に示します。

また、様々な分野ごとに具体的な施策や事業を定めた個別計画を、総合計画の方針にあわせて推進することで、めざすまちの姿に向けて取り組んでいきます。

さらに、総合計画と個別計画に基づいた具体的な取組を定める「施策展開方針」を組織ごとに策定して推進するとともに、毎年度、PDCAサイクル<sup>\*1</sup>により見直していきます。

---

### 【用語解説】

※1 PDCAサイクル：計画の立案から評価に至るまでの過程として、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルとして表わしたもので、事業を実施した結果を成果の視点で評価し、次の改善に結びつけようとする考え方を示しています。

■ 構成イメージ ～相乗的な効果をめざして～

総合  
計画

『えべつ未来づくりビジョン』第6次江別市総合計画

えべつまちづくり 重点的・集中的 えべつ  
未来構想 → 未来戦略

江別市のまちづくりの基本理念や、めざす10年後の将来都市像を定め、それを実現するために必要な手立てである「まちづくり政策」により取り組んでいきます。

江別市の持つ特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことにつながるテーマを設定し、そのテーマを実現するために必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいきます。

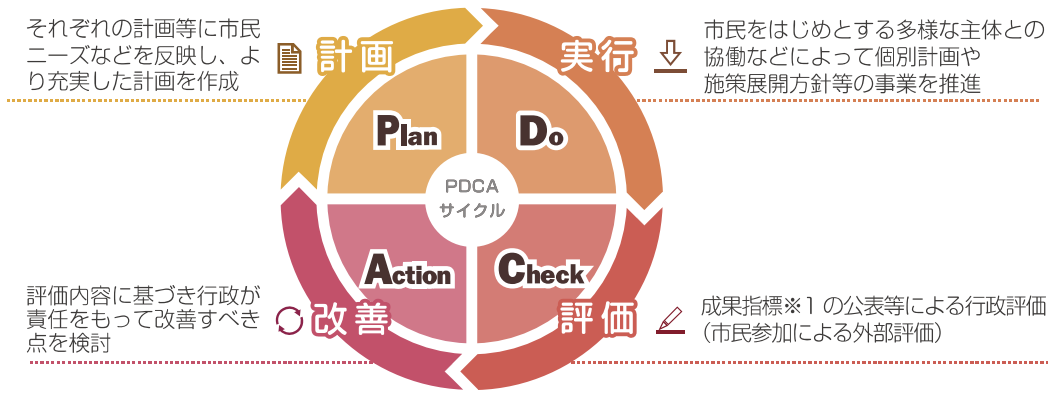
個別計画

まちづくりの様々な分野ごとに具体的な施策や事業を定めた個別計画を、総合計画を踏まえて策定して推進するとともに、計画内容の検証や見直し等を行うことで、めざすまちの姿に向けて取り組んでいきます。

施策展開  
方針

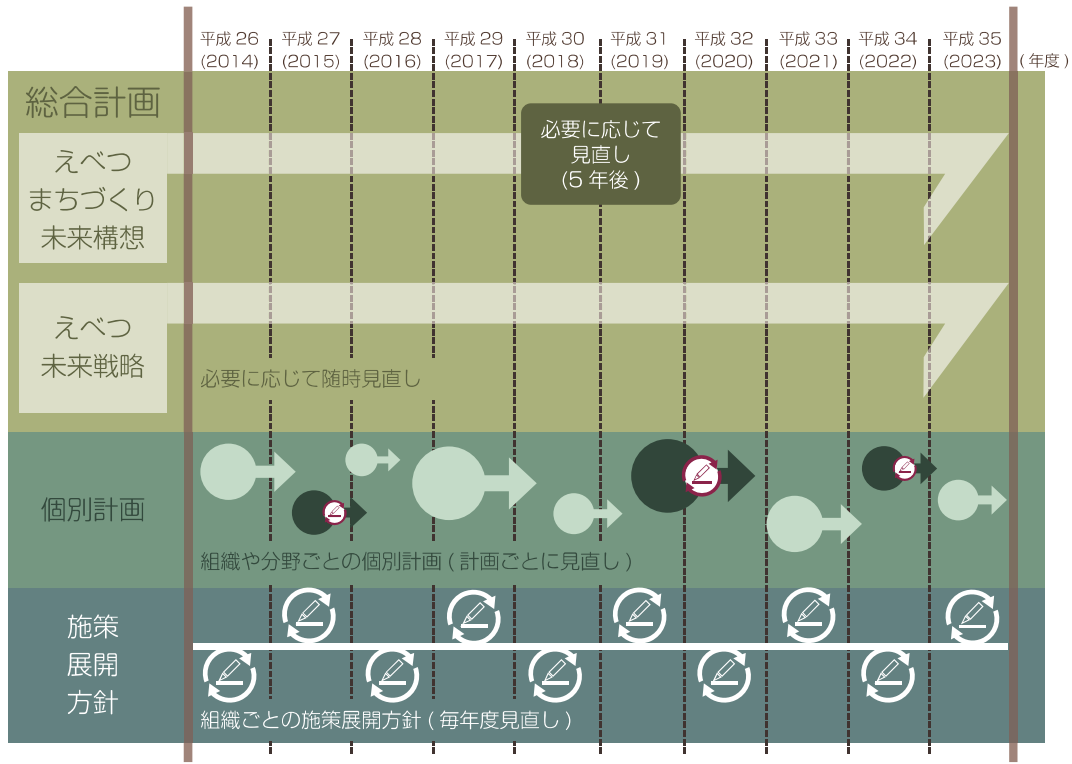
総合計画と個別計画に基づいた具体的な取組を定める「施策展開方針」を組織ごとに策定して推進するとともに、毎年度、PDCAサイクルにより見直していきます。

### PDCA サイクル ～継続的な向上をめざして～



### 3 計画の期間

本計画の期間は、平成 26 (2014) 年度から 10 年間とし、えべつまちづくり未来構想は、5 年後を目途に見直しを検討するとともに、えべつ未来戦略は、社会情勢の変化に柔軟に対応し、その効果を高めていくため、必要に応じて随時見直しを行います。



#### 【用語解説】

※ 1 成果指標：設定された目的の達成度を測定するための目じるしとなるもの。